

城野遺跡を過去から現在、未来へとつづく郷土愛を育む遺跡公園へ

2009年度～2010年度の発掘調査で発見された城野遺跡(小倉南区)は弥生時代後期の大規模な集落跡が良好な状態で残っており、学術上重要な遺跡であることがわかりました。特に九州最大規模の方形周溝墓、高価で真っ赤な水銀朱が塗られ、幼児を埋葬した石棺2基は独自の特徴をしめし、管玉・そろばん玉などを製造していた玉作り工房跡は九州で2例目という大変貴重なものです。

本遺跡はもともと医療刑務所の敷地だったため、周辺の市街地化が進むなか、小高い丘陵部が奇跡的に当時の状態のままで残されており、そこに立てば、今でも足立山をのぞむ弥生時代人の息づかいが間近に感じられる数少ない遺跡なのです。

日本考古学協会も専門家の立場から、国、県、市に「現状を保存し、史跡として整備・活用を図ること」と要望書を提出しています。

市は当初、現地保存する方針でしたが、土地所有者である国との保存交渉が成立せず、国が公的団体向けの売却手続きに入っても取得等要望することなく、2014年6月現地保存を断念しました。本年11月20日、国は売却のため一般競争入札(入札期間 12/10-12/24)を公示しました。

教育日本一を目指し、文化や歴史を大切にすることをうたっている北九州市なのに、地元には本格的な遺跡公園がありません。どうか、国民的文化遺産にふさわしい城野遺跡を現地保存し、市民が歴史体験できる遺跡公園をつくってください。

市民の財産である城野遺跡が民間に売却され潰されたら取り返しがつきません。

よって、以下のとおり陳情します。

陳 情 項 目

- 1 城野遺跡を現地保存するために城野医療刑務所跡地を必ず取得すること。
- 2 城野遺跡を市民が誇れる遺跡公園として整備・活用するために専門家と市民で構成する検討委員会を設置すること。

氏 名	住 所

城野遺跡の現地保存をすすめる会

〈連絡先〉093-451-4759(黒坂) 090-9472-8293(唐野)

〈送付先〉〒803-0275 北九州市小倉南区高野三丁目 12-15 黒坂久子

城野医療刑務所跡地(小倉南区)

城野遺跡

北九州の古代をひもとく

遺跡公園

城野遺跡へ行こう！

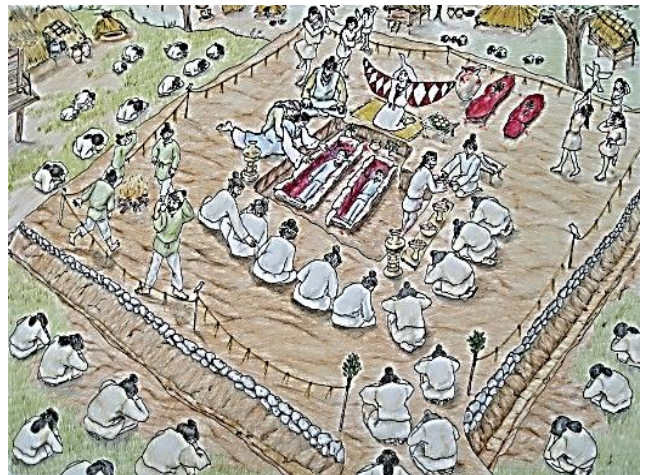
日本考古学協会も認める貴重な遺跡です。目の前にそびえる足立山を見上げながら、北九州の弥生時代の人々の暮らしを想像してみてください。遺跡公園を思い描いてください。
 ※JR城野駅の南口を出て歩いて5分。市民が集いやすい場所です。

城野駅まで徒歩5分



主な遺構の配置図

弥生時代中期から後期の住居が密集して40軒ほど築かれており、そのうちの2軒が玉作り工房として、水晶と碧玉の玉を製作していた。また、コの字形に溝がめぐる方形周溝墓のまわりには住居がないことから、居住域とお墓を明確に分ける集落の規制が代々守られていたことがわかる。



集落で一番高い台地上で方形周溝墓に埋葬された幼児の石棺2基(左)。石棺に葬られた幼児は、高価な玉のネックレスを身につけ、貴重な鉄の工具も持っていたこと、また高価で真っ赤な水銀朱が惜しげもなくお棺にまかれていることから、この地域を統括するリーダーの子どもであったと思われる。
 方形周溝墓での葬儀の様子想像図(右)。幼い二人の子供を相次いで失い悲しみに暮れる母親。



九州で2例目という貴重な玉作り工房の発掘作業。丁寧な発掘作業で20,000点近い石のチップが出土(左)。作りかけの水晶玉には穴がけられている(中)。ヒスイの緑色が美しい勾玉も付近で見つかった(右)。穴をあけるときに割れてしまった碧玉の管玉(右下)。玉の素材は、地元産の水晶のみならず、新潟県糸魚川産のヒスイ、山陰地方の碧玉などである。

